

昭和歌謡やスナックも。世代・国を超えて注目を集める“昭和レトロ”な世界観に没入！
日本全国のご当地鍋や日本酒、“こたつ”で冬を満喫
『酒処 鍋小屋 2025』を横浜赤レンガ倉庫にて
1 月 18 日（土）より 計 16 日間開催！

和スイーツ代表“あんこ”が楽しめる「あんこ横丁」はイベント初登場！
スナックお馴染みの「カラオケ」や、縁日で人気の「射的」で昔懐かしい“昭和体験”を。

横浜赤レンガ倉庫では、2025 年 1 月 18 日（土）から 2 月 2 日（日）の計 16 日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『酒処 鍋小屋 2025』を開催します。



『酒処 鍋小屋 2025』キービジュアル

本イベントは、寒さが厳しい冬の季節に横浜赤レンガ倉庫と海が見える開放的な空間で熱々の鍋を囲み、お客様同士の交友を深めていただきたいという想いから生まれました。例年 20 万人以上の方にご来場いただく横浜赤レンガ倉庫の恒例イベントのひとつとなり、今年で開催 9 回目を迎えます。日本全国のご当地鍋と 100 種超の全国選りすぐりの日本酒をメインにしつつ、和を感じるグルメ等も取り揃え、老若男女あらゆる世代の皆様にそれぞれのスタイルでお楽しみいただけます。

2025 年で昭和改元から 100 年の節目を迎えることから、今回のイベントテーマは「昭和」です。横浜赤レンガ倉庫の開放的な場を活かして“昭和”要素を盛り込んだ会場は、当時を知る人には懐かしく、知らない人には新しい、世代・国を超えお楽しみいただける空間を目指しています。昭和レトロな世界観に没入し、今人気を集める昭和の文化を改めてお楽しみください。



過去開催の様子



鍋メニュー・日本酒イメージ



<会場のみどころ>

■レトロブーム継続中！世代も国も超えて楽しめる“昭和レトロ”な世界観

今回のイベントテーマは、「昭和」。2025 年に昭和改元から 100 年を迎えますが、海外の方や Z 世代等“昭和”時代を過ごしていない人までも虜にし、いま人気を集めています。会場にはどこか懐かしい**レトロな看板**や、タイムスリップした気持ちになる**昭和歌謡の BGM** 等、昭和を感じる要素が詰め込まれ、ノスタルジックな雰囲気が漂います。

また近年、日本の若者から訪日客にまで幅広い層に支持されている、昭和ナイトカルチャーの代名詞**「スナック」体験ブース**も登場。ブース内では、盛り上がること間違い無しの**「カラオケ」**もお楽しみいただけます。

また、「縁日」で人気の出し物、“射的”等お子様から大人まで昔懐かしい雰囲気を楽しめるコンテンツもご用意します。



「スナック」イメージ

■全国各地の「ご当地鍋」、鍋にぴったりの種類豊富な「日本酒」をメインに“和グルメ”も豊富

寒い冬には欠かせない鍋料理は各地の特色を持ち、“ご当地グルメ”としても名を連ねています。そんな各地の鍋が集まる会場にて、複数種類をお楽しみいただきやすい一杯サイズの“鍋”と、それに合う選りすぐりの“日本酒”を思う存分お召し上がりいただけます。また、鍋や日本酒と同じく**和を感じる“あんこ”**の王道/進化系スイーツが楽しめる**「あんこ横丁」**が本イベントで初登場します。



あんこスイーツイメージ

■日本人が古くから愛する冬の伝統家電「こたつ」等、充実の“あったかスポット”

屋内会場となる大型特設テント内の座席にはヒーターを設置するほか、日本でお馴染みの**「こたつ」**で温まりながらお食事をしていただけるエリアも。“あったかグルメ”代表格の鍋と合わせて、寒い冬でも身体を内側と外側から温めます。



こたつイメージ

<開催概要>

- ・期 間：2025 年 1 月 18 日（土）～2 月 2 日（日）計 16 日間 ※雨天決行、荒天時は休業することがあります。
- ・会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 1-1）
- ・営業時間：平日 12:00～21:00（L.O. 20:30）
土日 11:00～21:00（L.O. 20:30）
- ・入 場 料：無料 ※飲食・物販代等は別途

- ・主催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・後援：横浜市、日本あんこ協会
- ・協力：株式会社エクシング
- ・特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/brickjournal/detail/121>

<SDGs への取り組み>

『酒処 鍋小屋 2025』では、SDGs への取り組みを積極的に行なっています。

■プラスチック製品の削減：

会場内の全店舗で環境に配慮した食器や包装材を使用し、プラスチック削減に取り組みます。

■GTL 燃料：

会場内の発電機の燃料は天然ガスから精製された GTL 燃料（軽油代替燃料）で、従来の軽油を使用した場合より CO2 を約 8.5%削減します。

■Fry to Fly Project：

国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力。

イベントで出た廃食用油を持続可能な航空燃料製造に提供。従来の航空燃料に比べ、CO2 排出量を約 80%削減できます。

■再生可能エネルギーの地産地消：

脱炭素化の実現に向けた再エネ普及拡大の一環として、横浜市内の家庭に設置されている太陽光発電設備の余剰電力（卒 FIT）を活用した取り組みを推進。イベントを含む、横浜赤レンガ倉庫で使用する電力の約 2 割相当を賄い、年間約 440 トンの CO2 排出量を削減できる見込みです。

ー横浜赤レンガ倉庫についてー

横浜赤レンガ倉庫は、創建 100 年を超える歴史的建造物を活用した文化・商業施設です。当時の倉庫の面影を残した館内には様々なショップやレストラン・カフェが軒を連ね、二棟間の広場では四季折々のイベントを開催。これまでに累計 1 億 2 千万人以上の方にご来館いただいています。施設に隣接する赤レンガパークは、横浜港を臨む開放的なロケーションが魅力で、観光で訪れた方だけでなく、ランニングやワンちゃんとお散歩など多くの方が行き交い、思い思いの時間を過ごせる場に。港を行き交う船やみなとみらいの景色を眺めたり、芝生に座ってくつろいだり、目の前の栈橋からはクルーズ船の船旅もお楽しみいただけます。

また、2022 年 12 月のリニューアルをきっかけに、サステナビリティへの取り組みを強化しています。2023 年 11 月には、横浜市 SDGs 認証制度「Y-SDGs」における最上位『Supreme』を取得するなど、地球環境と横浜赤レンガ倉庫に訪れるお客様が重要なステークホルダーであると認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指します。

<施設概要>

- ・施設名：横浜赤レンガ倉庫
- ・所在地：神奈川県横浜市中区新港 1-1
- ・営業時間：1 号館 10:00～19:00、2 号館 11:00～20:00
 - ※カフェ・レストランは店舗により異なる
 - ※1 号館ホール・スペースは催事により異なる
- ・ホームページ：<https://www.yokohama-akarenga.jp>

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更となる可能性がございます。12 月下旬頃に詳細を発表予定です。

※画像はイメージです。一部、過去のイベントの様子が分かる画像を使用しています。

<本件に関するメディア向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 PR 事務局（㈱ブラチナム内）担当：本間・白駒・岡本・菅野・福田
Tel：03-5572-6072 FAX：03-5572-6075 Email：akarenga_pr@vectorinc.co.jp

<本件に関する一般向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 2 号館インフォメーション 電話：045-227-2002(代) ※受付時間：11：00～20：00

